

第4回 NCES シンポジウム 報告書

2014年10月31日

1. シンポジウム概要

(1)日付

2014年10月8日(水) 10:00 - 17:30

(2)場所

名古屋大学 ES 総合館ホール, 会議室

(3)主催

名古屋大学大学院情報科学研究科附属組込みシステム研究センター (NCES)

(4)後援・協賛

後援: ・経済産業省中部経済産業局

協賛: ・NPO 法人 TOPPERS プロジェクト

・名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター (GREMO)

・分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク (enPiT)

・車載組込みシステムフォーラム (ASIF)

(5)講演プログラム

●オープニング

10:00-10:15

開会挨拶: 松尾清一 (名古屋大学副総長 教授)

来賓挨拶: 高木博康 (経済産業省中部経済産業局地域経済部長)

●招待講演

10:15-11:15 世界最速ハイブリッド車の開発について

安達和孝 (日産自動車株式会社 第一 EV 技術開発本部 EV パワートレイン開発部
エキスパートリーダー)

●NCES 紹介

11:20-11:50 NCES の 8 年間の紹介と第 3 期への展望

高田広章 (附属組込みシステム研究センター長 教授)

●セッション 1 NCES 成果発表

13:00-13:25 車載制御システム向け高品質プラットフォームに関するコンソーシアム型共同研究

鈴木彩音 (名古屋大学)

13:30-13:55 次世代車載 LAN に関わる研究開発

倉地亮 (名古屋大学)

14:00-14:25 車載データ統合アーキテクチャに基づく LDM の実装・評価に関するコンソーシアム型
共同研究

山口晃広 (名古屋大学)

14:30-14:55 マルチ・メニーコアに適した組込み制御アルゴリズムの開発

荒川文男 (名古屋大学)

15:00-15:25 分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク (enPiT) 組込みシステム分野
(enPiT-Emb) と NCES 社会人講座

山本雅基 (名古屋大学)

●セッション2 NCES と共同研究・教育を実施した企業の発表

- 16:00-16:20 企業発表1 ヴィッツの育ての親 "NCES" ～手間のかかる脛かじりが思う
感謝～
服部博行 (株式会社ヴィッツ)
- 16:20-16:40 企業発表2 NCES 共同研究成果活用事例と AP コンソでの取り組み
渡邊竜明 (株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社)
- 16:40-17:00 企業発表3 組み込みソフトウェア開発力強化の取り組み
－NCES との共同研究と人材育成プログラム活用－
小林貢 (株式会社豊田自動織機)
- 17:00-17:20 企業発表4 産学連携による人材育成
鳴原一人 (富士ソフト株式会社)

●クロージング

- 17:20-17:30 閉会挨拶
坂部俊樹 (名古屋大学大学院情報科学研究科 研究科長 教授)

(6)ポスター展示

展示内容：

- 1 東芝 (株) 渡邊 竜明 ポスター：車載システム向け RTOS TOPPERS/ATK2
- 2 富士ソフト (株) 鳴原一人 TOPPERS を活かした AUTOSAR ビジネス
- 3 (株) 永和システムマネジメント 森 崇 VFB を活用した実機レス開発の実現
- 4 東海ソフト (株) 佐藤 文洋 SafeG ポーティング・活用事例のご紹介
- 5 (株) エーアイコーポレーション 魚濱 浩輔 SafeG で構築する安全・簡便なハイブリッド OS ソリューション
- 6 (株) サニー技研 乾 正樹 CAN FD & TOPPERS ATK2 Starter Kit
- 7 カーネロンシリコン (株) 丸山修孝 超高速ハードウェア RTOS とその応用
- 8 (株) ヴィッツ 片岡 歩 未来に向かうヴィッツの RTOS Owls シリーズ
- 9 ルネサスシステムデザイン (株) 福井 昭也 スケーラブルな AUTOSAR ソリューション
- 10 宮城県産業技術総合センター 荒木 武 組み込みシステム開発研修
- 11 静岡大学 塩見 彰睦 HEPT コンソーシアムの人材教育の取り組み
- 12 (株) オートネットワーク技術研究所 上田 浩史 次世代セントラル G/W 構想
- 13 名古屋大学 中村 陸 マルチ・メニーコアに適した, 組み込み制御アルゴリズムの開発
- 14 名古屋大学 倉地 亮 車載制御ネットワークのセキュリティ向上手法
- 15 組み込みシステム産業振興機構 (組み込み適塾) 瀬野 第 7 回組み込み適塾 先進的組み込みシステム産学官連携プログラム
- 16 同志社大学モビリティ研究センター 島田 秀輝 協調 ITS のための効率的分散データ処理
- 17 名古屋大学 山口晃広 車載データ統合アーキテクチャに基づく LDM の実装・評価に関するコンソーシアム型共同研究
- 18 名古屋大学 段 慧 AUTOSAR プラットフォームの研究開発成果
- 19 名古屋大学 段 慧 AUTOSAR 仕に基づいた高品質プラットフォームの研究開発
- 20 CEST 武井千春 CEST の紹介

- 21 ASDOQ 山本雅基 ASDOQ の紹介
- 22 SWEST 武井千春 SWEST の紹介
- 23 名古屋大学 NCES 武井千春 NCES 全体の紹介
- 24 高田先生受賞 武井千春 高田先生受賞の紹介

2. 開催実績

2.1 広報と申込みの受付

(1) 広報

シンポジウムの広報は、NCES の Web ページを開設し、メーリングリストを用いて広報した。

(2) 申込みの受付

2012 年 8 月 16 日から 10 月 6 日まで、NCES の Web ページで実施。

申込者には、以下の記載を求め、受付の自動返信を実施した。

- ・申込者の氏名、所属、連絡先、参加予定日、情報交換会への参加の有無

2.2 申込者と参加者数

(1) 申込者数

150 名

(2) 参加者数

講演会参加者数： 148 名（当日参加 11 名を含む） 申込者数の 92% が参加

情報交換会参加者数： 76 名

2.3 配布物

参加者に、講演予稿集（166 ページ）、アンケート用紙、センターの広報チラシを配布。

2.4 アンケート分析結果

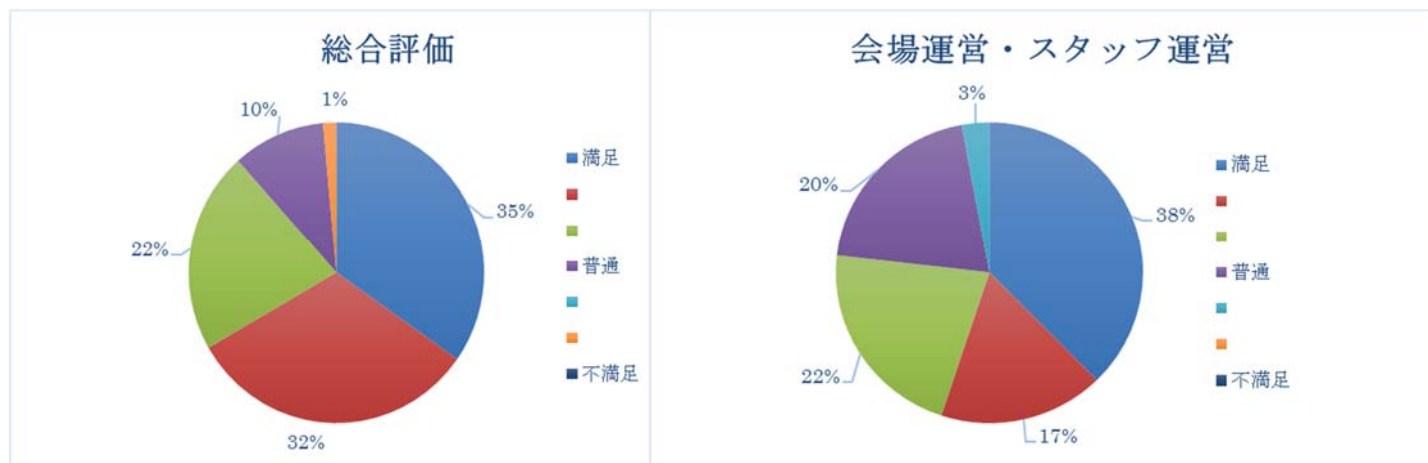
アンケート用紙（付録参照。例えば総合評価を開催日別に 7 肢選択（1「不満足」から 7「満足」）

で求めている）を参加者に配布し記入をうながし、出口で回収した。

回収総数は 69 枚であった。

2.4.1 総合評価

7 肢選択の総合評価の集計結果を、下図に示す。約 9 割の回答者がシンポジウムに満足していると回答した。



- ・日産安達様の招待講演が、非常に興味深かった。研究開発の成果（TOPPERS）を量産開発につなげた実績がよくわかった。
 - ・高田センター長の話で、今後の方向性が当地域を含めた組込みシステムの今後の課題、対策が理解でき大変参考になった。
 - ・共同研究に参加した企業の話が聞けたのがとても良かった。
 - ・参加企業の人材育成の実例が参考になった。自社でも検討したい。
 - ・enPIT などの人材育成の取組みを NCES でも行っていることがわかった。
 - ・研究内容の話はもう少し分かりやすくしてほしい。事前の導入資料があると良い。
- 特に、NCES へ期待する点として、以下の記述があった。

- ・これからも継続的に成果を発表してほしい。
- ・NCES から AUTOSAR へ成果をフィードバックすることをぜひ実現してほしい。
- ・教育については Web を活用した eLearning についてもぜひ検討してほしい。
- ・AUTOSAR を実現するコンソーシアム型共同研究をもっと発展させてほしい。
- ・まだまだ PR 不足だと感ずる。教育も研究ももっと発信してほしい。

2.5 会場風景写真





3. 主催者総括

第4回目の今回は初めて1日間の開催としましたが、1日間としては前回とほぼ同数である148名の方にご参加いただき、成功裏にシンポジウムを終えることができました。今回は初めて、共同研究に参画していただいている企業からの発表を取り入れましたが、アンケートの結果を見るととても好評でした。共同研究に参画することによる人材育成、成果の活用などとてもよく分かったとの声を頂き、共同研究の良さを伝えることができました。全体としても90%以上の方から満足していることが確認できました。

本シンポジウムへの参加者および開催に携われた全ての関係者の皆様に感謝します。

今後とも、NCESの取り組みにご支援いただきますよう、よろしく申し上げます。NCESは、継続的に産学官、それぞれの立場からの発表を企画してまいります。共同研究や人材育成の門戸は常に開かれていますので、お気軽にお問い合わせください。

付録

第4回 NCESシンポジウムアンケート

アンケートの取り扱い：データは、NCESの運営を改善するために使用します。データは、厳正に管理されます。個人や企業・組織を特定する形で公表されることはありません。

1. ご回答者のプロフィールをお教えてください

年齢： 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 それ以外

職種： 管理者 ソフトウェア技術者 ハードウェア技術者

教育関係者 コンサルタント 営業 その他（ ）

2. シンポジウムの評価をお願いします

(1) 総合評価を、7段階でお付け下さい（○印をつける）。

満足 普通 不満足

--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 特に印象に残った発表、良い点、悪い点、などを自由にお書き下さい

(3) 会場の設営、スタッフの運営に対する評価を7段階でお付け下さい（○印をつける）。

満足 普通 不満足

--	--	--	--	--	--	--	--

(4) 改善すべき点がございましたら自由にお書き下さい

4. 3. NCESの教育・研究活動に対する、期待・要望などを自由にお書き下さい

（個別の打ち合わせをご希望される方は、ご連絡先をお書き下さい）